

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 27年 7月 8日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 滋賀県彦根市小泉町31番地		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社 平和堂 代表取締役社長 夏原 平和
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004	
適用範囲	株式会社平和堂 アル・プラザ醍醐、FM梅津店、FM葛野山ノ内店	
導入年月日	2002年7月12日	
認証番号	JQA-EM2493	
基本方針	私たちは、お客さまのご満足度向上をめざし、安全で安心な商品やサービスの提供を行うとともに、地球環境保全のために自ら責任を持ち、全社をあげて取り組んでいきます。さらにお取引先や地域社会とのコミュニケーションを重視した環境保全活動を進めることで持続可能な循環型社会形成に寄与していきます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	平成25年度環境目的・目標 環境配慮商品の販売拡大 80億円、 一次エネルギー・水道使用量の削減 原単位1%、 お買い物袋持参率 70.0%、 CO2排出量の削減 2002年度対比6%削減、 食品リサイクル率の向上 55%、 平和堂エコビースクラブの拡大 参加者4,000名、 平和の森づくりの推進 5地域へ拡大	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 環境セレクト商品の販売拡大・POP訴求・協賛企画化・ポスター作成 節電・空調点検の徹底、温度管理表管理、省エネ設備への入替 お買い物袋持参運動の推進・ポスター作成・店内アナウンス・キャンペーン実施 省エネ設備入替・エネルギー転換 生ゴミ分別回収リサイクル店舗の拡大、食品リサイクル導入、リサイクル業者の選定 小学校へアプローチ強化、案内パンフ改訂、実施プログラムの見直し 森づくり協定地域の活動計画の推進 	
目標を達成するための取組の進捗状況	環境マネジメントプログラムに基づき、上記取組内容を実施。 取組内容の変更はなく、達成が難しい状況の目標については不適合として是正・予防措置を講じて改善に取り組み進めた。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	平成25年度環境目的・目標の結果 環境配慮商品の販売拡大 85億円〇、 一次エネルギー原単位2.3%削減〇 お買い物袋持参率 70.1%〇、 CO2排出量の削減 2002年度対比2.12%削減△、 食品リサイクル率の向上 50.4%×、 平和堂エコビースクラブの拡大 4,535名参加〇、 平和の森づくりの推進 5地域 10回開催 〇	
事業活動に係る法令の遵守の状況	10月に全店舗で環境法規制等の自主点検を実施。 直近までの届出・報告書類等の状況確認、法定測定の実施及び基準地内の結果の確認を実施。 省エネ法改正に伴う報告等届出も早期に完了、その他家電リサイクル法の立入検査結果も問題なし。容器法・食り法の定期報告についても内容ともに問題なし。 各地域の条例対応についても調査確認の上、対応済みを確認。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	マネジメントレビューについては毎年1月に、社長へ1年間のEMSの進捗状況を報告し実施している。 レビューの結果、新規3ヶ年計画の策定に際し、今後予想される環境の変化を考慮し、注力して取り組む項目を分析し新たに取り組むまいようを検討する。本部一律の目標設定から、店舗の自主的目標の取り組み導入。次世代自動車急速充電器等の設置による、公共性の高い、店舗施設の見直しを行う。 以上をトップから指示を受け平成26年度の運用に繋げている。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。